

原稿内容確認書

広告内容をご確認いただき、ご返送くださいますようお願い致します。番号間違いにご注意ください。

株式会社タウンニュース社

川崎市議会議員 松川正二郎

様

中原区  
編集室

有賀 友彦

TEL: 044-741-4111 FAX: 044-741-4002

掲載日	掲載版	面	サイズ
2021/01/01	中原区版	中面	9.73cm × 5段



**松川正二郎プロフィール**  
 NPO防災・防犯ネットワーク  
 中原支部長  
 中原区町内会連絡協議会理事  
 (新丸子町内会会長)  
 丸子地区社会福祉協議会理事  
 中原消防団丸子分団班長  
 HP <http://matsukawa.top/>  
 FB <https://www.facebook.com/shoujirou.matsukawa>  
 TEL 044-328-9619

市政報告 Vol.13

ウィズ・コロナ今年の取り組み

川崎市議会議員 松川正二郎

昨年は全ての生活領域において、今までの日常というものを一旦停止せざるを得ない年でした。人との接触が制限され、誰もが身動きを取れませんでした。そんな中、取り巻く環境が激変し、日々の楽しみを取り上げ

られ、多くの代償を払うこととなった子ども達への行政対応について、多くの議会質問を行いました。一方でこうした状況下、ひと時でも皆さんに明るさや希望を届けたいという思いと、一日も早く生活を送る地域レベル内のICTに係る試行的な取り組みにチャレンジしてみたいと考えています。直近の調査では、インターネット利用は全世界では9割に迫っているものの、70歳〜79歳では74.2%、80歳以上では57.5%と世代間格差が生じています。また、2025年問題を控え、高齢者とテクノロジーを結びつける「AGETECH」を意図した動きが各方面で展開され始めています。

例えば総務省では、高齢者等がAI・IoTによる恩恵を受け、生き生きとより豊かな生活を送ることができるようにするために、住居から地理的に近い場所で心理的に身近な人からICTを学べる環境が必要であるとして、デジタル活用支援員推進事業を進めています。また、中原区役所でも町内会活動にLINEを導入することによって、

川崎市議会議員 松川正二郎  
 044-328-9619  
<http://matsukawa.top/>

店名・電話番号・営業時間等は必ずご確認ください。該当欄にチェックを入れ、ご署名の上期日までにご返送ください

訂正ナシ。印刷作業を進めて下さい  訂正有り。タウンニュース社で修正して印刷作業を進めて下さい  訂正有り。確認のため修正した原稿をもう一度送信して下さい

お客様サイン

令和 年 月 日

●限られた日程の中で編集作業を進めておりますので、校正は原則的に2回までとさせていただきます。3回目以降の校正は有料になる場合がございます。●締切り日時までに掲載内容が確定しない場合、指定された発行日の紙面に掲載できませんので、指定期日までに必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。●印刷作業に入りますと内容の変更や訂正ができませんので、入念なチェックをお願い致します。●原稿内の「townnews」ロゴは弊社内確認に使用し、印刷時には削除いたします。